

「地域はみんなで作らしましょう」

No. 11

令和3年1月1日

鹿島台まちづくりから

鹿島台駅前通り公園に
ステージができました。

目次

- 鹿島台駅・西口・東口……………1ページ
- 会長あいさつ……………2ページ
- 地域で輝く人……………2ページ
- 各委員会紹介……………2～3ページ
- 文化を学ぶ集い……………4ページ
- 防災行政無線テレホンサービス……………4ページ
- 編集後記……………4ページ



完成した鹿島台駅前通り公園です。
この公園は市が千田豊治様から寄付を受け
昨年12月に整備したものです。



鹿島台駅東口に
花植えを!!

秋のごみゼロ一斉大作戦終了後
夏咲いていた花に変わり、冬越し
の花パンジー・ビオラ・葉牡丹の
植え替えと、道路側の除草作業を
東平渡、福芦団地、姥ヶ沢地区有
志の皆様で行い駅東口の美化に汗
を流しました。

「鹿島台地域の更なる活性化に向けて」



鹿島台まちづくり協議会
会長 高橋 亨

新年おめでとうございます。
鹿島台まちづくり協議会は結成から十四年目を迎える事ができました。これも地域の皆様のご支援、ご協力によるものと思います。

これまで、鹿島台地域の活性化に向けて、当協議会では分野ごとに五つの委員会それぞれ地域の課題解決のため活動をしてきましたが、新型コロナウイルスで、計画どおりには達成できない状況でした。特に皆様が楽しみにしておりました、モーニングマーケット、ビアガーデンも開催できず残念でなりません。

当協議会では「長寿者名簿」と「まち協だより」は従来どおりお届けしました。「鹿島台地域みんなのカレンダー」については、四月発行に向けて準備を進めています。

また、当協議会が長年にわたり、市に要望しておりました、鹿島台駅前通り公園が完成しました。公園にはステージやベンチが設置されています。このことにより、駅東西の更なる交流と活性化が図られ「元気の鹿島台・住み良い鹿島台」を目指していきま

す。
まちづくりは、地域の皆様と話し合いを重ね、その上で一緒に行動していくことが大切だと思っています。今後とも皆様のご理解とご指導をお願いし、今年には新型コロナウイルスが終息し、安心して生活できるようお願いしながら、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

地域で輝く人 力を合わせて取り組んだ日々

瑞宝単光章

令和元年 秋



元大崎市消防団副団長(竹谷)
佐藤 壽勝 様

災害からの復興、子育てと教育文化が花ひらき元気に長生きのまちづくりや笑顔と歓声の祭りなど皆さんと談論風発、力を合わせて取り組んだ日々を思い出しながら今は田畑を友に元気に暮らしています。叙勲の栄を賜りましたことは自らのみならず、ご指導ご支援くださいました皆様への栄誉と受け止め深く感謝しお受けいたしました。コロナに負けずさらに絆を深めて頑張りましょう。

旭日小綬章

令和2年 春



元大崎市議会議員
門間 忠 様

黄綬褒章

令和元年 秋



技能功労(大沢)
千葉製作所
早坂 治 様

無念のコロナから脱却を目指し

当委員会では「南の玄関にぎわいのまちづくり計画」に掲げた、地域の隠れた魅力の発掘及び産業の活性化を実現するため、これまで「まるごと産業まつり」の開催地域コミュニティイベントへの事業協力及び春秋互市や夏祭りへの支援等を行ってきました。

しかし、昨年はコロナの影響により何一つ実施することはできませんでした。一昨年の台風十九号により甚大な被害を受けながらも生産を復活させたデリシヤストマトは、六月に鳴子温泉ブルワリーで醸造され、生まれたビール二本も結局は出番なしに終わりました。

今年こそはと期待を胸に奮闘するつもりです。

活力ある産業委員会

明日に向かって

例年通り三之助翁の助翁かるたとすごろくを四年生の児童の児童に届けることができ、各家庭では、遊びを通して三之助翁の志や歩みについて語り合い学んでいることと思います。



第一幼稚園とのマリーゴールドを通しての交流事業は、今までは、染付だけの交流でしたが、今回は、三角巾の絞り染めを手にした子どもたちの達成感も伝わり、楽しい時間を過ごしました。

移動研修は、栗駒山麓ジオパーク。十余年前の大地の鳴動で姿を変えた山や森、奪われた尊い命や無となった生活から立ち上がり、地域を支えていく人々の話を伺いました。

今年も次代の子どもたちが夢と輝きを持ち、前進できるような、年でありたいと願います。

のびのび生涯学習委員会

少しずつでも前進を

当委員会では、市の補助事業を活用し、地域福祉資源の有無等に関する調査・研究を行い、「高齢者生活支援ガイドブック」を策定しました。この冊子は、鹿島台地域内の行政区長や民生委員さん方に配布しました。

また、昨年はコロナウイルスが蔓延する中、国から、全戸に布マスクが配布されましたが、布の面積が小さいことから着用する方が少ないという実情に鑑み、コンビニ店の協力を得て未使用マスクの寄付を募り、集まったマスクすべてを宮城県立子ども病院に届けました。

昨年から三か年計画で「光のページェント」事業を立ち上げました。「健やか」を冠する当委員会として、地域の方々への心の癒しを提供します。

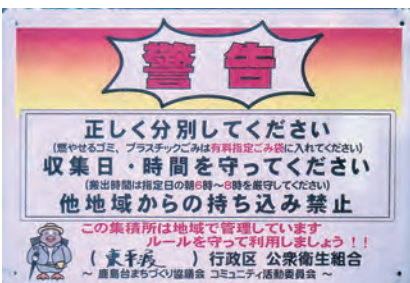


健やか安心委員会

永遠に続く環境問題

当委員会では、環境問題に目を向け、住み良い地域づくりに取り組んでいます。全区長、衛生組合長の協力でアンケートを実施しました。集積場にルールを守らないで持ち込まれるごみが多いことを目に向け、「警告の看板」を各集積場に設置しました。その結果、改善したとの声も聞きました。が、依然としてルールが守られていないということも聞かれ頭を悩ませています。また、高齢者家庭の集積場へのごみ出しなどは地区で対応しています。

これからも、住み良い環境づくりに取り組んでいきますので、今後とも住民皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



コミュニティ活動委員会

「防災まちづくり大賞」受賞

当委員会は、日本防火・防災協会長から「第二十四回防災まちづくり大賞」をいただきました。

これまで、小学生の視点で地域探検し施設設備の防犯・交通安全防災マップコンクールでの入賞や一昨年の台風災害対応など、委員会構成メンバーの活動が評価されました。

これからも、市民一人ひとりが普段からの防災知識などの向上、「自らの生命は自ら守る行動」新たな水害に強いまちづくり」に連携した活動を継続してまいります。



安全で快適委員会

文化を学ぶ集い(水害編)

講演会とパネルディスカッション

2020年11月8日(日)

鎌田記念ホール(多目的ホール)



パネルディスカッションの様子



講師 一條 三子 氏

鹿島台文化協会主催の「文化を学ぶ集い」が、令和元年の水害に係る講演会とパネルディスカッションを内容として、開催されました。講師は放送大学、跡見学園女子大学の一線三子先生で、宮城県河川の河川、水害、防災の工夫に触れたうえで、明治潜穴や水害に強いまちづくり事業を進めた鹿島台の災害文化について話しました。パネラーとなった鹿野文永元町長、千葉榮鶴田川沿岸土地改良区理事長、武藤勝実上志田区長、柴和雄姥ヶ沢区長の各氏から豊富な体験を基に貴重なお話をいただきました。

防災行政無線テレホンサービス

大崎市では、防災行政無線の放送内容を電話で確認することができる「防災行政無線テレホンサービス」を運用しております。

放送内容がよく聞き取れない場合や内容をもう一度確認したい時などに利用して下さい。

■電話番号(通話料無料)

◆フリーダイヤル **0120-600054**

む せ ん ご よ う

■ボタン操作と内容

電話機のボタン操作で確認したい放送内容を変更できます。



電話機のボタン操作	→	操作内容
「#」を押し、「1」を押す	→	ひとつ前の放送内容に戻るとき
「#」を押し、「2」を押す	→	現在、聞いている放送内容の冒頭に戻るとき
「#」を押し、「3」を押す	→	次の放送内容に進むとき
「#」を押し、「0」を押す	→	最初の放送内容に戻るとき

■注意事項

1. 固定電話、携帯電話、スマートフォン、公衆電話、IP電話などから確認できます。
2. 確認できる放送内容は、防災行政無線より24時間以内に放送された内容となります。放送内容は24時間経過したものから順に削除されます。

■問い合わせ先：大崎市総務部防災安全課 TEL:0229-23-5144



編集委員

佐中伊川鹿大日高佐
々々々々々々々々々々
木幡藤越野町野橋藤
恵信里壽祐順 政
美子子子子一孝智亨重

(編集委員長 佐藤政重)

す。明
けま
し
て
お
め
で
と
う
ご
ざ
い
ま
す。
昨
年
は
未
知
の
感
染
症
「
新
型
コ
ロ
ナ
ウ
イ
ル
ス
」
と
の
感
染
、
激
動
の
年
で
あ
り
ま
し
た
が、
依
然
と
し
て
終
息
の
見
通
せ
な
い
状
況
に
あ
り
ま
す。
一
日
も
早
く、
安
全
で
有
効
な
ワ
ク
チ
ン
が
開
発
さ
れ、
世
界
各
国
に
行
き
渡
り、
完
全
制
圧
さ
れ
る
こ
と
を
願
う
も
の
で
あ
り
ま
す。
そ
れ
ま
で
は、
感
染
し
な
い
よ
う
、
感
染
さ
せ
な
い
よ
う
お
互
い
心
配
り
を
ま
い
り
ま
し
よ
う。
こ
の
苦
境
を
乗
り
越
え
て
ま
い
り
ま
し
よ
う。
平
穏
な
日
常
が
戻
り、
皆
様
に
と
つ
て
明
る
い
一
年
と
な
り
お
祈
り
申
し
上
げ
ま
す。
集
委
員
一
同
心
より
お
祈
り
申
し
上
げ
ま
す。

編
集
後
記

鹿島台地域の
人 口
12月1日現在
世帯数 4,555戸
男 5,545人
女 5,920人
計 11,465人